

会 議 録

1 会議名	平成26年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成26年7月31日(木) 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 東原勸, 山口和子, 神山光男, 川津昭夫, 高橋榮一, 藤枝登茂子, 赤羽博行, 長谷川良子, 江連脩身, 手塚豊, 鈴木敏正, 中山善一, 手塚正義, 小嶋康夫, 長嶋秀子, 福嶋修</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 合併市町村基本計画の執行状況について</p> <p>・答申書(案)協議</p> <p>(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>・実行プラングループ協議</p> <p>・グループ協議結果発表, 意見交換</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開 会	
第4回宇都宮市上河内自治会議開会	
事務局	3人の委員から欠席の連絡を受けており、出席者数は17名で、委員の過半数に達しているため、この会議は成立する。
2 会長あいさつ	
太田会長よりあいさつ	
3 議 事	
(1) 合併市町村基本計画の執行状況について	

会 長	<p>それでは、次第3，議事に入らせていただく。</p> <p>まず，(1) 合併市町村基本計画の執行状況について，事務局から説明願う。</p>
事務局	「資料1」に基づき説明する。
会 長	それでは，「答申書(案)」について，意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
会 長	異議がなければ，答申書の確定としてよろしいか。
全委員	異議なし
会 長	<p>それでは，表紙の(案)を削除し，答申書とする。</p> <p>本日，答申書が確定したので，8月20日水曜日に私と，副会長で，市長へ答申書を提出させていただく。4回にわたり，熱心な協議をいただき感謝する。</p> <p>次の(2)地域のまちづくりに関する施策の提案に移らせていただく。</p>
(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について	
会 長	資料と進め方について，事務局より説明願う。
事務局	「資料2-1」から「資料2-5」に基づき説明する。
会 長	今回は，「資料2-4」の太枠線部分を精査いただき，発表の際は，一つひとつの項目をつなぎ合わせて，ストーリーとして説明いただきたい。資料等について，質問等はないか。
全委員	質問等なし。
会 長	それでは，グループ協議をお願いします。
グループ協議を実施	
会 長	<p>それでは，グループ協議の結果を発表していただく。</p> <p>まず，Bグループからお願いします。</p>
委 員	<p>Bグループの協議結果を発表させていただきます。</p> <p>まず，方策2「観光農園などの充実とまちづくりとの連携」の「ゆずやいちごの観光農園の拡大」については，3年後にある「期間限定のいちご狩り農園の確保」と「いちごマップの作成」を削除し，「JAとのタイアップによるいちご狩り専用農園の開発」と「現在あるゆず園の有効活用」に修正した。また，5年後に「ゆずの観光農園の開発」と，「ゆずを製品化するための業者を探す」を追加とした。方策3「地域資源を活かした観光の推進」については，「活動しているグループとタイアップして予算化し具体化する」という内容とした。方策4「道路整備の推進」については，交通量が多くなるための安全確保として，3年後に「歩道の設置や，ガードレールの設置」。「整備計画進行中のものは整備」をし，5年後に「情報収集をして整備を繰り返す」と追加した。</p> <p>以上が協議結果である。</p>

<p>委員</p>	<p>Cグループの協議結果を発表させていただく。</p> <p>まず、方策1「地域農産物を活かした農業の充実」の「生産・加工・販売までの6次産業化」については、「加工所を確保し、生産・加工・販売までの一体化が必要」を追加した。また、方策2の「ゆずやいちごの観光農園の拡大」については、「生産者を結ぶ上河内全体が分かる様なものを作成する」を追加とした。方策3に「観光施設の現状調査・報告を行う」を追加した。方策4には「道路の危険箇所の情報を集約する窓口の設置」と「行政、交通安全協会、PTAなどを集結させたパトロール隊の組織づくりが必要」と追加し、点検・整備へつなげる形をとりたいと考えた。最後に、方策5「地域内交通の利用促進」については、「コンパクトシティの実施に向けた、地域外の乗継実施」と「利用登録者数の目標を20%にする」を追加した。</p> <p>以上が協議結果である。</p>
<p>委員</p>	<p>Aグループの協議結果を発表させていただく。</p> <p>まず、方策1の「特産品のブランド化」の内容を、「米、ゆず、いちご、加工トマト、玉ねぎを利用加工し、付加価値の高い商品を開発する。地域ブランド化を図ることで知名度を向上させるとともに、サービスエリアでの販売や契約先を確保、拡大させる」とした。「担い手の確保・育成」では、3年後に「行政への経済補助の働きかけ」を、5年後に「魅力ある農業の実践や継続的農業体験の実施」を追加した。方策2の「ゆずやいちごの観光農園の拡大」については、3年後に「いちご農家を取り込んだ観光農園を造る」を、10年後に「いちご、ゆずの6次産業化」を追加した。方策3では「緑水公園の再開発」と「鬼怒川河川敷の有効活用」を追加した。また、「サイクリングコースの設定による交流人口の増加」を新たな取り組みとして追加した。最後に、方策5の「利用者ニーズにあった公共交通の導入」の3年後に「利用登録者の増大」を「利用登録者の確保に努める」に修正し、10年後に「デマンドタクシーの各地域とのネットワークの確立、相互乗り入れの実施」を追加した。</p> <p>以上が協議結果である。</p>
<p>会長</p>	<p>貴重なご提案ありがとうございました。</p> <p>共通した提案もあれば、他にはない提案をされたグループもあった。全体的に内容の書き方について、苦労されたように感じた。</p> <p>3年後、5年後、10年後の各スケジュールに応じて何をやるのかを書いていただいた。一つひとつは大変重要な取組みではあるが、それらをまとめた時のシナリオが大切になる。何をどのようにしたら、最終的にどうなるか、という所まで少しストーリー性を持って進めていただけると分かりやすかったかと思う。多少、案にとらわれすぎた気がする。</p>

	<p>例えば、方策1の「特産品ブランド化」では、10年後に「農村レストラン」とあるが、ブランド化と直接どう関わるのか。どちらかという と生産、加工、販売の中の販売に関わる内容ではないかなど、もう少し 案にこだわらず審議いただくとよかったのではないかと思う。</p> <p>また、第3回自治会議で提案のあった「6次産業化の理解度の充実」 や「組織づくりの確立」などが、「法人化の検討」という全体をまとめた 形で修正されているが、この辺りの関係も明確にする必要があると思わ れる。</p> <p>方策2では、「観光農園」と「体験農園」の違いについて整理しないと 曖昧になってしまう恐れがある。また、「観光農園の拡大」の5年後に「ゆ ずやいちごの量産化」とあるが、量産化が観光農園と直接どう関係する のか。特産品のブランド化を図りながら農産物の普及拡大を目指すとい う点では関わってくると思うが、観光農園が直接どう関わるのかを再度 検討する必要があると感じた。</p> <p>方策3では、「新たなサイクリングコースの設定」という非常に有益な 提案が出されたと思う。</p> <p>方策4の「道路整備」では、「道路の危険箇所の情報集め」とあるが、 危険箇所という事に注目するなら、安全性の確保に入れるべきものでは ないかと思う。また、道路整備の必要性を提案いただいたが、整備した 道路をいかにしてまちづくりなどに有効活用するのかという所まで討議 いただけるといいと思う。</p> <p>方策5の「地域内交通」では、「利用者ニーズにあった公共交通の導入」 という取組み内容で、「路線バスの運行時間の見直しや利用拡大、地域間 乗り継ぎ」等を含めた提案をいただけたのはよかったと感じた</p> <p>いずれにしても、本日の提案を含めて事務局等で、改めて内容をまと め直ささせていただき、次回の会議で、もう一度協議していただきたいと 考えている。ご協力をお願いしたい。</p> <p>以上、総評とさせていただきます。</p>
5 その他	
会長	その他、意見や質問、連絡事項等ないか。
事務局	次の、第5回自治会議の開催は、9月か10月に予定し、改めて通知 させていただきます。
6 閉会	
会長	以上で、「平成26年度第4回上河内自治会議」を終了する。